

応神天皇とは

小宅神社には、応神天皇とそのお母さんの神功皇后がまつられています。奈良への修学旅行に行くとき、高速から応神天皇の古墳が見えます。かなり大きな古墳です。社会科で学習した**倭の五王**の一人である**讚**(さん)が応神天皇かもしれません。

応神天皇の子どもは日本で最も大きい**大山古墳**にまつられる**仁徳天皇**です。



高速道路から見た古墳

小宅神社にまつられるきっかけ

神功皇后は天皇の摂政として政治を行う人物でした。朝鮮半島での戦から大和に帰られる時、里長をしていた少宅秦公(おやけはたのきみ)が、朝廷内の謀反(むほん)があることを知らせたのです。神功皇后は秦公のこの行動を大変喜ばれ、出発の際、秦公に1つの奇石を与えたのです。この奇石を皇后の神霊としてまつているのが小宅神社です。

小宅神社の祭りは少宅の里になった690年から続いているそうです。